

「購入額は瞬時に分かり
ますよ」。ソフト開発を手
掛けるブレイン(兵庫県西
脇市)の社長、神戸寿(63)
は3月初旬、焼きたてパン
の販売店を視察した顧客と
の商談をまとめた。新たな
取引先はアラブ首長国連邦

異才の横顔

ドバイの王族。ベーカー
を営み、パンの種類を画像
認識によって判断するレジ
装置「ベーカーレスキャン」
の導入を決めた。神戸は自
分の商品が世界に羽ばたく
手応えを感じた。

ブレイン社長
神戸 寿氏



かんべ・ひさし 東京農工
大学卒業後、1974年松下電
工(現パナソニック)入社。77
年に退職して家業の材木店を
継ぐ。82年にブレインを創業。
兵庫県出身。63歳。

ドバイにパン認識装置

入客がパンをトレーごと会計に置くと、それを備え付けカメラが撮影し、パンの種類を判別して購入額を計出する。パンの画像データを蓄積しており、それと照合してメロンパン、あんぱんなどを見分ける仕組みだ。焼きたてパンにはバーコードや値札を貼れないが、「ベーカーレスキャン」を使えば、新米の店員でもレジ業務がこなせるし、最も苦勞したのは焼き具

「パンは季節によって形もいろいろなかった」。

状が微妙に変わる。内緒だが、特売時期は少し小ぶりだったりもする。今や神戸は本業であるIT(情報技術)以上にパンの事情に詳しくなった。

「これをやった」と胸張りたい

80年に子供が生まれた時、ふと音楽仲間がかつて言っていた言葉を思い出した。「将来、自分はこれをやったんだと子供に胸張って言えるものを残したい」。一度きりの人生を「このまま材木屋のボンで終わっていいんか」と一念発起、周囲の反対を押し切り起業を決めた。

実は材木屋時代、パナソニックでの知識を生かして職業訓練校でプログラミン言語「BASIC」の講師をしていた。その経験を踏まえて、神戸は82年に地元でパソコンショップを開いた。

デジタル・サービス

敬称略
大和田尚孝
おわり